
1. 2015年3月期第1四半期決算について

2. 2015年3月期業績見通し

3. 最近の取り組み

大型コンサルティング案件の受注拡大

- **民間分野では全社レベルの大型構造改革案件が増加**
 - **ビジネスモデル改革、新興国進出、組織・業務の抜本改革等、テーマは幅広い**
- **公共分野でも実行支援型を中心に大型案件が堅調**

大型のコンサルティングテーマ・案件の例

民間 (国内)

- 全社事業構造改革(大手製造業)
- 組織・業務改革によるコスト構造改革(大手製造業)
- 全社組織の抜本改革(大手サービス業)
- 顧客CRM基盤の抜本改革支援(大手サービス業)

公共

- 「医療機器・サービス国際化推進事業」事務局運営(経産省)
- 除染情報管理業務(環境省)
- G空間シティ構築事業管理支援業務(総務省)

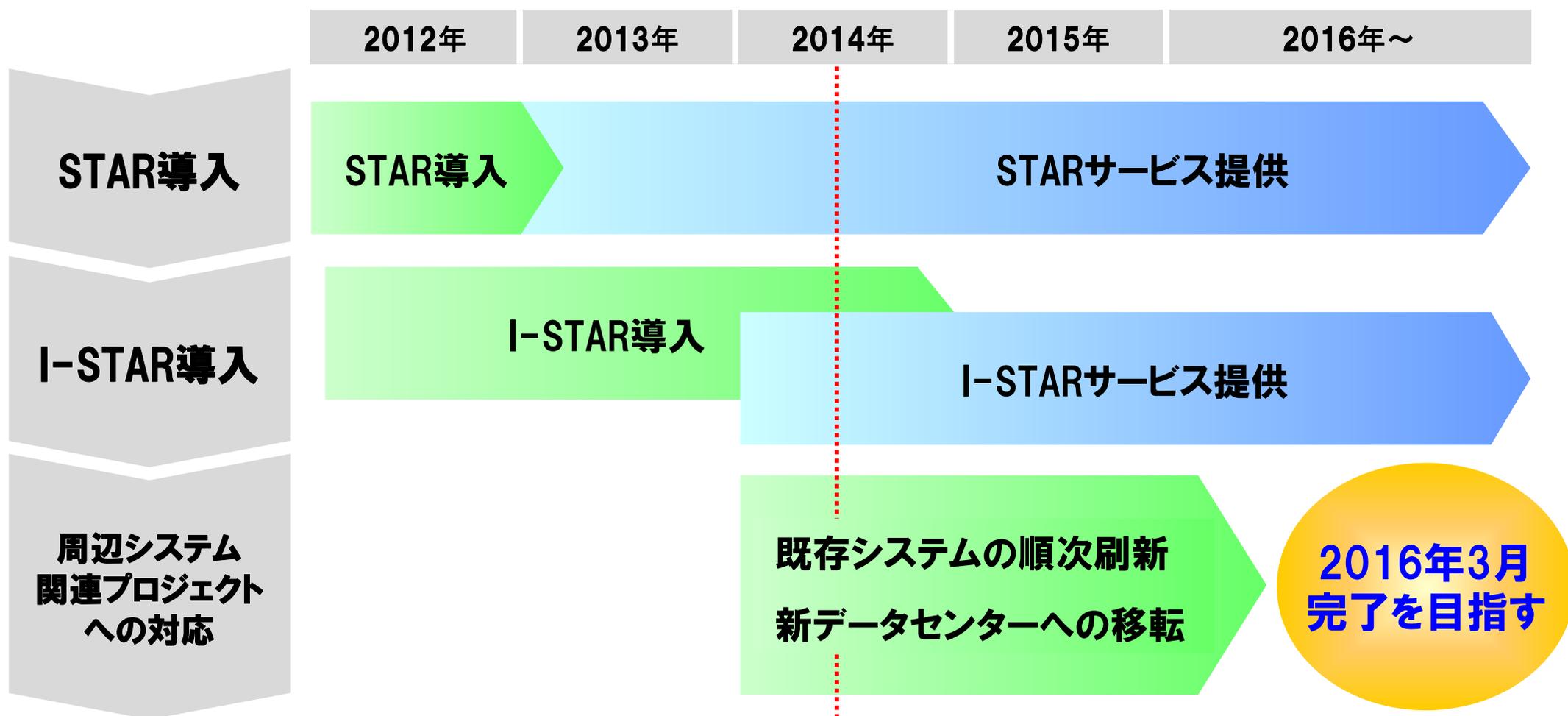
海外

- 中国消費者定点観測(大手サービス業)
- アジア事業展開支援(大手製造業)
- アジア進出戦略策定支援(大手サービス業)
- 海外インフラ事業参入支援(大手サービス業)

野村証券の国内システム刷新プロジェクト

▶ プロジェクト完遂に向けて着実に対応

- I-STAR導入、周辺システム関連プロジェクトへの対応が進行中



STAR事業の展開

- NISAサービス提供後も、堅調に利用社数を拡大
- 4月よりだいこう証券ビジネスとの連携をさらに強化
- 金融所得一体課税制度(2016年1月開始)へのシステム対応に着手

**総合証券
バックオフィスシステム**

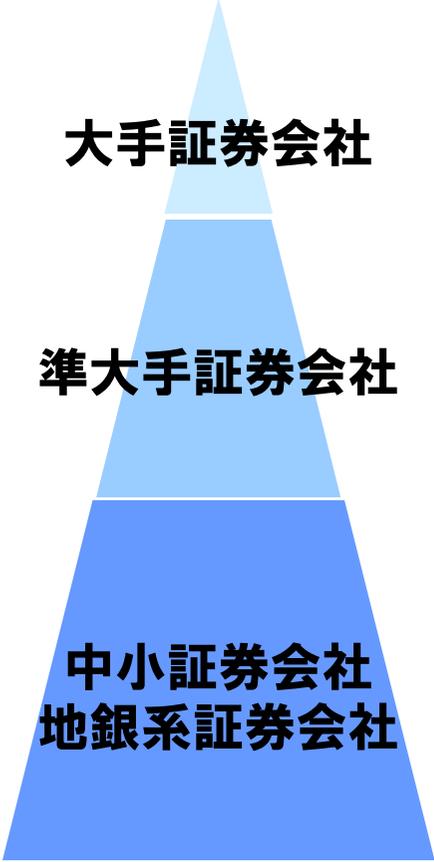


63社^{※1}→
利用社数: 66社^{※2}

■ **トップマネジメント営業による顧客との関係構築・強化**

■ **金融制度変更への迅速な対応**

■ **だいこう証券ビジネスとの連携強化
⇒高付加価値サービス(IT×BPO)を提供**



※1 利用社数は2014年3月末時点
※2 利用社数は2014年6月末時点

Bestway事業の拡大

- **大手銀行のBestwayアップグレード案件、金融所得一体課税制度への対応を契機に、さらなる事業の拡大を狙う**

投信窓販口座管理システム

BestwayJJ

利用社数：109社*

(大手銀行・信託・地銀・第二地銀等)

※利用社数は2014年6月末時点

大手銀行の案件への対応

- 大手銀行(複数行)より、Bestwayのアップグレード案件を獲得
- 各案件を着実に推進中

金融所得一体課税制度への対応

- 2016年1月の制度開始に向けて、システム開発に着手
- オプション機能としてサービス提供予定

-
- 本資料は、2015年3月期第1四半期決算の業績および今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではなく、また何らかの保証・約束をするものではありません。
本資料に掲載されております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、また今後、予告無しに変更されることがあります。
 - 本資料のいかなる部分も一切の権利は野村総合研究所に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。
 - 業績予想に関する参考値は当社の現状及び見通しをご理解いただくために目安となる値を表示したものです。なお、新たな情報や何らかの現象が生じた場合において、当社が業績見通し等を常に見直すとは限りません。